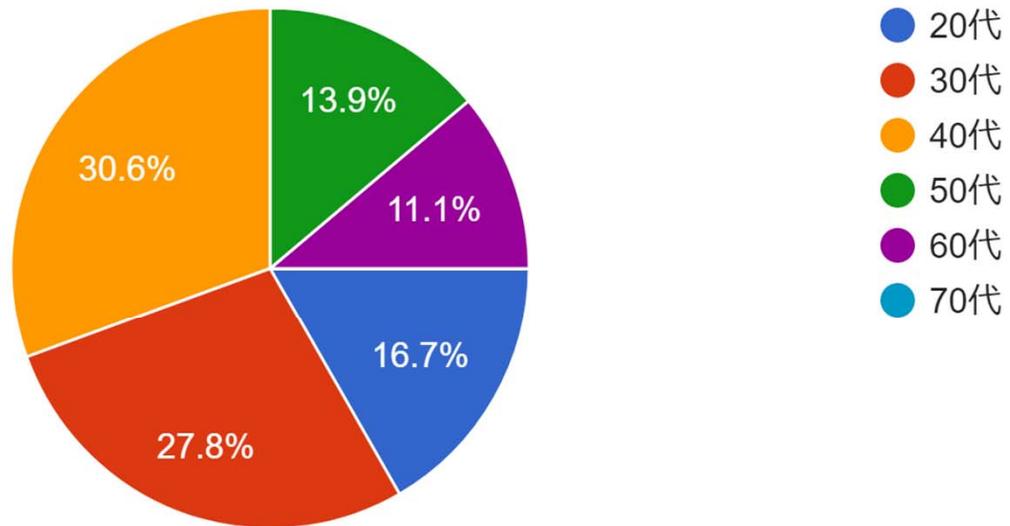


「各種構造物の津波荷重の体系化に関する研究委員会」成果報告会
参加者アンケートの結果

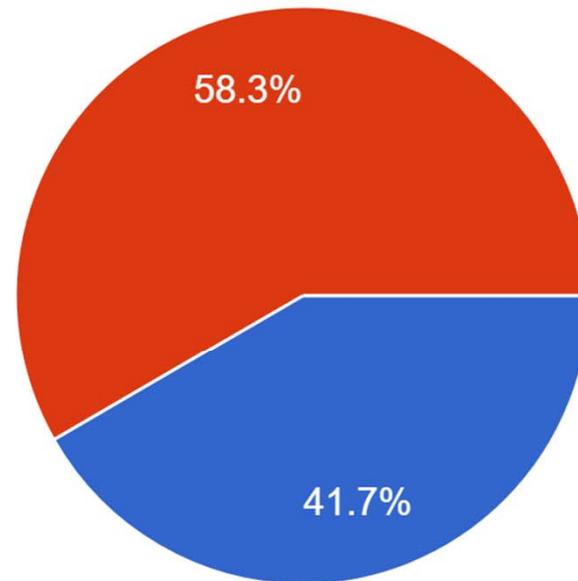
ご年齢

36 件の回答



発表はいかがでしたでしょうか？

36 件の回答



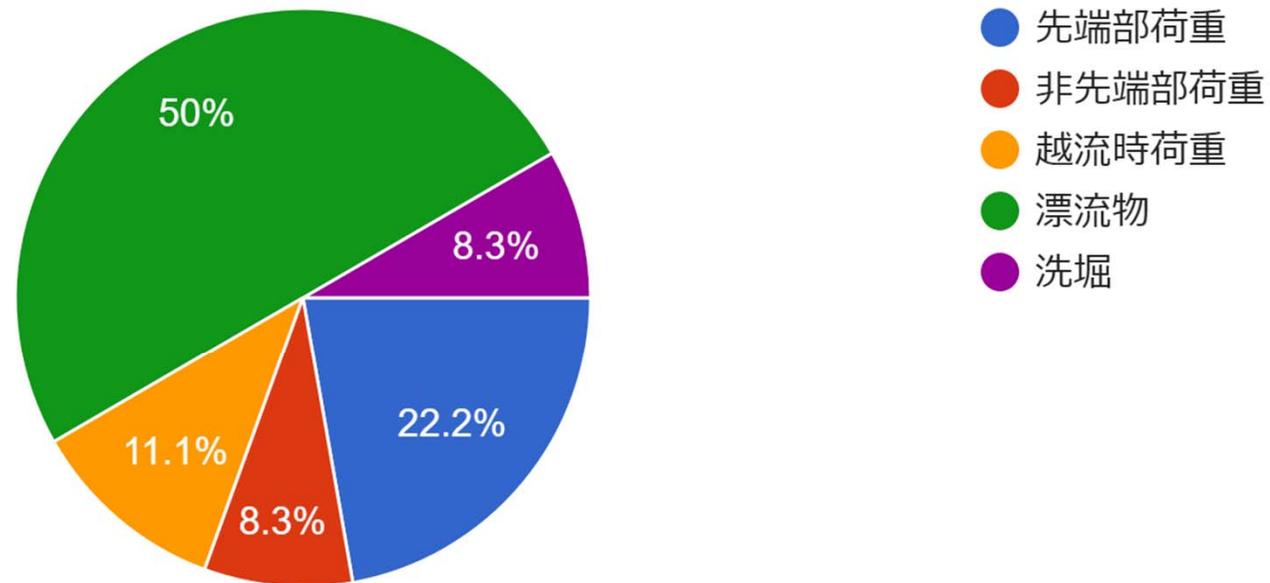
- 大変よかった
- よかった
- 悪かった
- 大変悪かった

今回の発表において、こうしたほうが良いというご意見をいただきました (13件の回答)

- 大事な所はゆっくり説明してほしい。
- 会場を広く、時間をもう少しとってほしいと思う
- 特になし
- もう少し各報告の時間が長くても良いと感じました。
- 報告書が欲しいです。
- 研究期間が長いようですので、これまでの研究成果も含めて、大規模な報告会にするのがよいと思います。
- もう少し時間をかけて、詳しく発表されても良かったかと思えます。
- 1つ1つの発表に、もう少し時間をかけて頂いても良かったかもしれません。
- 一部の提案については、今後どのようなアプローチが行われるのか、行うべきなのか、意見や解説があれば、より良かった。
- 既往研究や文献を踏まえ体系的にまとめられており、大変参考になりました。一部、出典の論文名が不明なものがあつたので、明示していただくと助かります。
- 若い方達の発表に松富先生のような説得力があると良い。
- 発表の時間がもう少しあつた方が良かった。スペースが狭いのでもう少し広い場所でゆったりと聞きたかつた。

本発表でもっとも興味のある荷重・現象はどれになりますか？

36 件の回答



津波荷重として、課題は何でしょうか？ (23 件の回答)

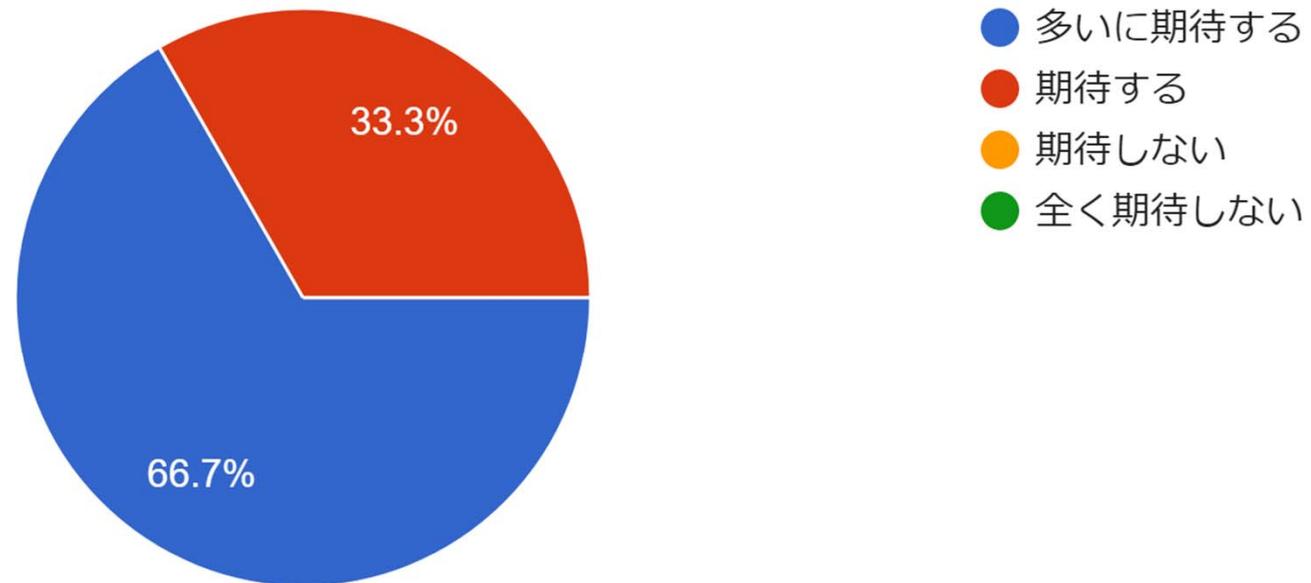
- 船舶などの圧壊を考慮した津波荷重（できれば静的荷重）
- ハザードマップの水位、流速の時刻歴が入手できないこと
- 実務で使える砕波段波の評価方法がないと思われる。
- 構造物の動特性（固有周期など）に対する津波荷重算定式の適用性。例えば、免震建物に既往の津波荷重算定式が適用できるのかなど。
- まだまだ未知数な項目が多い分野であると考える。
- 定量的な指標が示されることが重要
- 設定方針が確立していないこと
- 条件設定
- 水深係数
- 荷重算定に用いる流速の妥当性（解析結果は実現象と合致するのか）

津波荷重として、課題は何でしょうか？（続き） (23 件の回答)

- 水深係数は、構造物設計に与える影響として、敏感過ぎる様に感じます。
- 漂流物の影響を考えた場合の
- 沿岸域孤立構造物に対する漂流物衝突荷重や局所洗掘評価
- 先端部荷重をいかに合理的に評価するか。
- 更なる設計手法の体系化。設計式間の不整合の統一。
- フルード数による水深係数の式を使う際、流速の推定方法、即ちシミュレーションの精度が課題ではないかと考えます。
- 荷重評価実験における実験水路幅の影響を考慮すること
- 体系化
- ご報告にもあったとおり、漂流物の荷重算定式の適用性について実務上の判断が難しく、保守的な検討になりがちである。構造物の評価を含めた全体的な評価の体系化が望まれる。
- 漂流物荷重評価における評価式の適用性、選定の考え方、これらの標準化
- 水深係数の設定。漂流物衝突力と津波波力の同時性
- 津波シミュレーションを前提としない比較的簡便な設計方法が示されると良いと思います。

今後このような成果発表があることを期待いたしますか？

36 件の回答



最後に参加費用について妥当だと思われるお値段をお願いします

36件の回答

